

注 意 事 項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 二、国語総合の問題は一ページから十二ページまであります。
- 三、解答用紙は一枚です。
- 四、試験中に問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、落丁（ページの脱落・乱丁（ページの乱れ）に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 五、問題冊子の余白等は自由に利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 六、試験時間は六十分です。
- 七、受験番号と氏名は、解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 八、解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 九、必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
- 十、問題冊子は持ち帰りなさい。

令和四年度

一般選抜問題 一期 【一日目】

国語総合

【試験時間 午前十時～午前十一時】

— 次の文章は、丹羽宇一郎『人間の器』の一部分である（ただし、少し書き換えた）。読んで後の設問に答えなさい。

（五十点）

黒い縦線が文章の内容を隠している。見えている文字は以下の通りである。

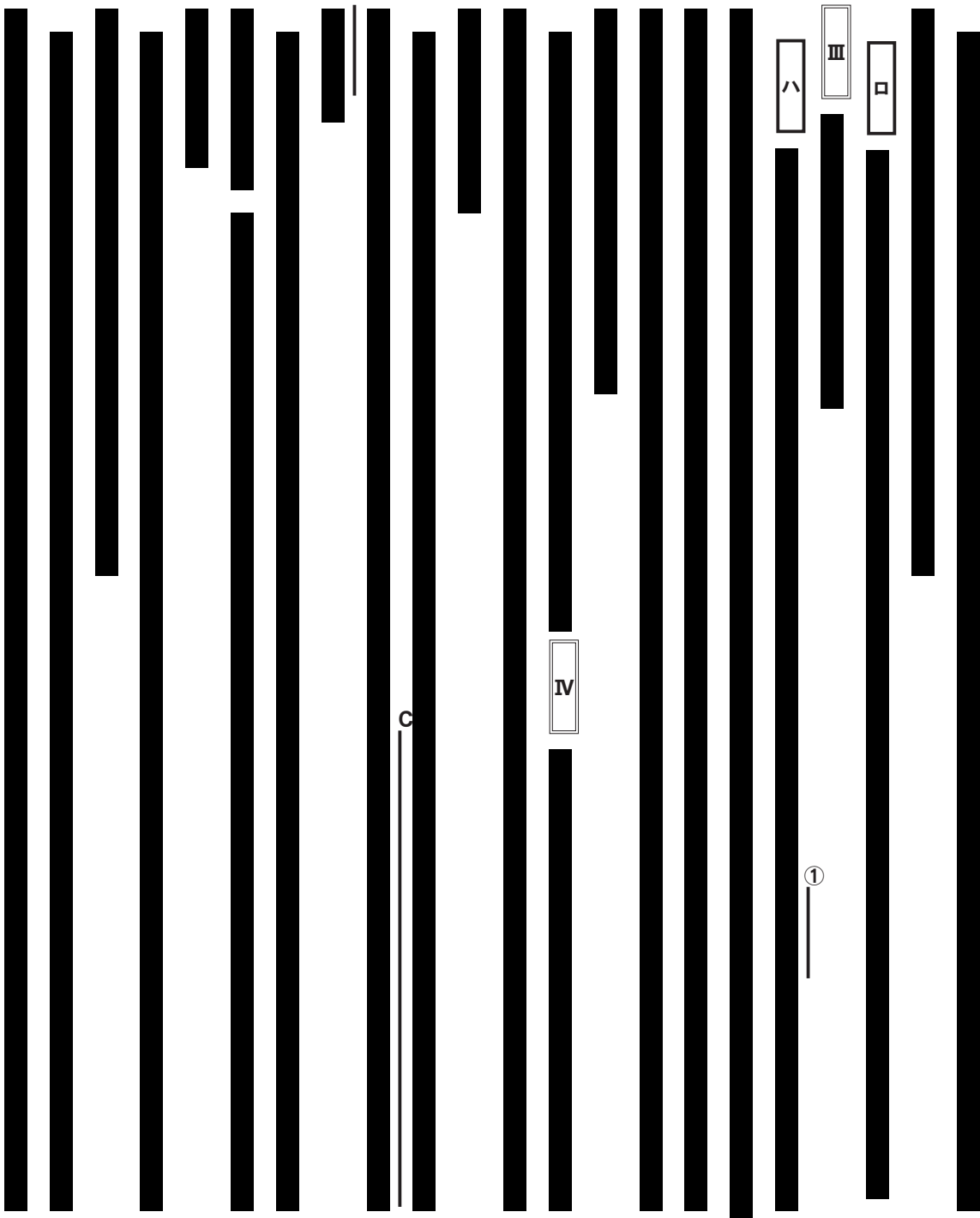
イ

I

II

A

B



(丹羽宇一郎『人間の器』より)

問一 傍線部①～④について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄 **イ** ～ **ニ** にあてはまる語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい(ただし、使用は一度のみ)。

a もっと b ですから c しかし d たとえば

問三 空欄 **I** ～ **IV** に入る言葉として最もふさわしいものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい(ただし、使用は一度のみ)。

a 目標 b 中心 c 満足 d 保身 e 確認

問四 傍線部 A 「とあるが、

具体的にはどういうことか。四十字以内で答えなさい(句読点も一字に数える)。

問五 傍線部 B 「とあるが、そのようになる理由は何か。本文中から二十四字で抜き出して書きなさい(句読点も一字に数える)。

問六 傍線部 C 「

はどれか。次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

とあるが、その説明としてふさわしいもの

- a 部下の手柄を自分のものにして出世する上司が多いから。
- b 「いいね！」がつかないと攻撃的になったり不安になったりするから。
- c 適度にある分には自分を向上させる原動力にもなるから。
- d それにとらわれることで人生の内実が貧しくなっているから。
- e 人間という存在をより深く知る手がかりになる場合もあるから。

問七 傍線部 D 「

用いて二十五字以内で答えなさい（句読点も一字に数える）。

とあるが、それはなぜか。本文中の言葉を

問八 傍線部 E 「

答えなさい。

とあるが、この例にあてはまるものはどれか。次の中から一つ選び、記号で

- a 幼稚園さくら組の園児全員が、発表会の踊りを覚えることができた。
- b 司法試験に五度挑戦したが、すべて不合格のため受験を断念した。
- c 伝染病に感染し欠席していたが、回復して登校できるようになった。
- d 一度引退した陸上選手が、三年後に現役に復帰し世界記録を更新した。
- e 市主催の成人式で、規約により市長から出席者に記念品が贈られた。

二 次の文章は、バトラー後藤裕子『デジタルで変わる子どもたち―学習・言語能力の現在と未来』の一部分である(ただし、少し書き換えた)。読んで後の設問に答えなさい。(五十点)

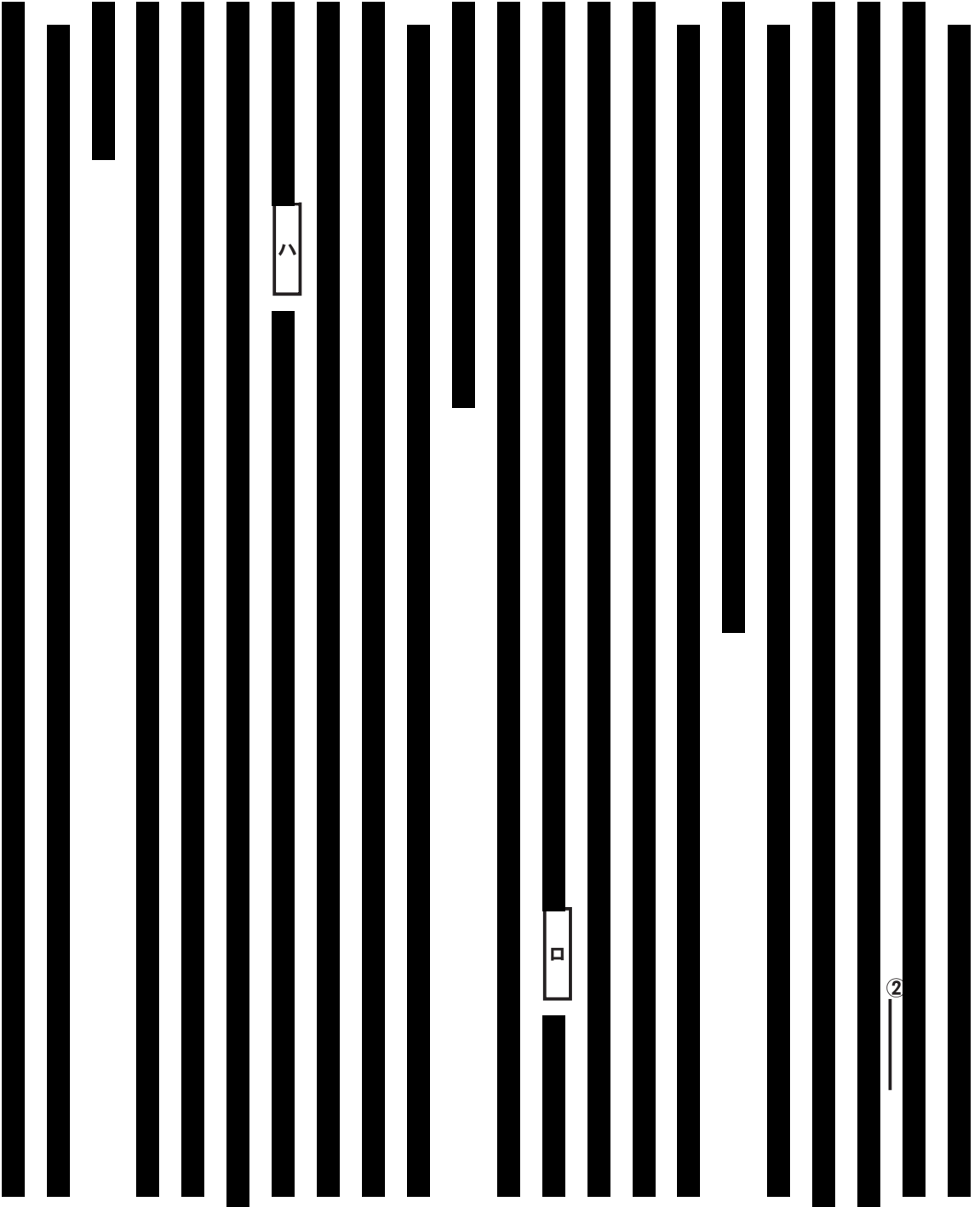
[Redacted text block containing vertical bars and markers]

I (五)

II (八)

イ

①



B

(バトラー後藤裕子『デジタルで変わる子どもたち―学習・言語能力の現在と未来』より)

[Redacted text block containing multiple lines of blacked-out text and a circled number 4 with a vertical line pointing to it.]

問一 傍線部①～④について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄 [イ] [ニ] にあてはまる語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい(ただし、使用

は一度のみ)。

- a つまり
- b たとえば
- c しかし
- d したがって


問三 空欄 **I** (五) と **II** (六) にあてはまる語句を、本文から抜き出して書きなさい(番号の下の数字は抜き出す語句の字数を示す)。





問四 傍線部 A 「」の例として適切なものは何か。次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- a 高い職業意識
- b チームワーク
- c 個人に内在するコミュニケーション能力
- d リーダーシップ
- e 文字による言語能力

問五 空欄 **III** にあてはまる語句として最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- a 創造性
- b 社会性
- c 主体性
- d 生産性

問六 傍線部 B 「」とあるが、これは具体的に何か。本文中の言葉を用いて八十五字以内で説明しなさい(句読点も一字に数える)。

問七 本文冒頭の二重傍線部「」とあるが、それぞれどのような能力か。左の表の空欄 **①**  **②**  **③**  にあてはまる語句を本文から抜き出して書きなさい(番号の下の数字は抜き出す語句の字数を示す)。

自立的言語使用能力	多数の言語情報の中から必要なものを ① (四) し、批判的な視点も持ちつつ理解・分析する言語能力。
社会的言語使用能力	デジタルおよび非デジタル空間内で ② (八) を構築するための言語使用能力。
創造的言語使用能力	既存の知識を ③ (三) したり、新しいコンテキストの中で応用したりする能力。

問八

文章全体を踏まえた上で、筆者の考えと一致すると考えられるものを、次の中から**二つ**選び記号で答えなさい。

- a** 基本的言語知識をマスターできなければ、他の言語使用能力を発達させることもできない。
- b** デジタル時代では、言語能力より非言語能力のほうがより重要視される。
- c** コミュニケーション能力の一つである方略的能力は、筆者の考える基本的言語知識には含まれない。
- d** 言語情報から相手の思考を理解するだけでなく、感情・情緒を感知することのできる能力も、自律的言語使用能力に含まれる。
- e** 創造的言語使用能力のプロセスは、言語行為を通して行われるが、対象となる情報の中には非言語情報も含まれる。